

愛せずにいられない、“永遠の夢見る乙女”の文学活動50年と日常。



「感傷旅行(センチメンタル・ジャーニー)」
文藝春秋新社'64年刊



タンスポット

まいにち薔薇いろ

田辺聖子

の 2007年1月2日(火)~15日(月)
そごう心齋橋本店 14階=そごう劇場

世界展

心ときめく作品と愛蔵の小物たち



撮影/中山かつみ

開場時間:午前10時~午後8時30分

※1月2日(火)は午前9時30分~午後8時、

最終日は午後5時閉場、ご入場は閉場30分前まで。

入場料:一般700(600)円/大・高生500(400)円

※()内は前売り、団体、ミレニアムカードメンバーさまご優待料金

※消費税含む

[主催] 読売新聞社/NHKきんきメディアプラン/

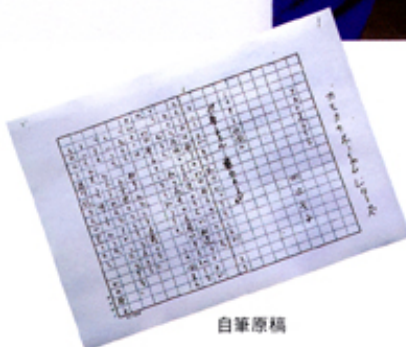
田辺聖子展実行委員会

[後援] (財)日本近代文学館

[特別後援] (財)出版文化産業振興財団

[特別協力] 集英社

[協力] 大阪樟蔭女子大学



白筆原稿



香水瓶

なにわ遊覧百貨店
お遊びに、お買い物に。



SOGO

心齋橋本店

電話 06(6281)3111 大代表
www.sogo-gogo.com



まいにち薔薇いろ

田辺聖子の 世界展



心ときめく作品と愛蔵の小物たち

- 昭和3年(1928)
大阪市・福島の写真館の長女として生まれる。
- 昭和19年(1944)
樟蔭女子専門学校(現・大阪樟蔭女子大学)
国文科入学。
- 昭和20年(1945)
工場勤員、6月の大阪大空襲で自宅の写真館焼失。
12月父・貫一死去。
- 昭和22年(1947)
樟蔭女子専門学校卒業。
金物問屋に就職、29年まで7年間OL生活。
- 昭和31年(1956)
『虹』で大阪市民文芸賞受賞。
文学活動開始。
- 昭和33年(1958)
『婦人生活』に『花弁』を連載、
最初の単行本となる。
- 昭和39年(1964)
『感傷旅行(センチメンタル・ジャーニー)』で
第50回芥川賞受賞。
- 昭和41年(1966)
神戸の医師・川野純夫(カモカのおっちゃん)と結婚。
36年間連れ添う。
- 昭和51年(1976)
大阪芸術賞受賞。
- 昭和61年(1986)
第40回神戸新聞平和賞受賞。
- 昭和62年(1987)
直木賞初の女性選考委員。
『花衣ぬぐやまつわる……わが愛の杉田久女』で
第26回女流文学賞受賞。
- 平成2年(1990)
第10回日本文芸大賞受賞。
- 平成5年(1993)
『ひなぐれ一茶』で第27回吉川英治文学賞受賞。
- 平成6年(1994)
第42回菊池寛賞受賞。
- 平成7年(1995)
1月阪神・淡路大震災被災。紫綬褒章受章。
- 平成10年(1998)
第3回井原西鶴賞特別賞受賞。
『道頓堀の雨に別れて以来なり』で
第26回泉鏡花文学賞受賞。
- 平成11年(1999)
『道頓堀の雨に別れて以来なり』で
第50回読売文学賞「評論・伝記賞」受賞。
- 平成12年(2000)
2000年度文化功労者に選ばれる。
- 平成15年(2003)
『ジョゼと虎と魚たち』が映画化。
『姥ざかり花の旅立』で第8回蓮如賞受賞。
- 平成18年(2006)
『田辺聖子全集』全24巻、別巻1、完結。
文学活動50年。

PROFILE

展開内容

- Ⅰプロローグ……田辺聖子の幼少時代
- Ⅱ第1部……淀之水高女から樟蔭時代
- Ⅲ第2部……文学修業時代から芥川賞受賞まで
- Ⅳ第3部……田辺聖子 全仕事
- Ⅴ第4部……私の愛する小物たち
- Ⅵフィナーレ……田辺源氏の世界



A



C



B

田辺聖子サイン会

○1月2日(火)・15日(月)

いずれも、午後2時～

※サイン会開催各日、午前10時より
14種＝田辺聖子の世界展 書籍販売コーナーにて
書籍(図録を除く)をお買いあげの方、
先着70名さまに整理券をお渡しいたします。
整理券予定枚数配布時点でサイン受付を
終了いたします。予めご了承ください。
※都合により時間等が変更になる場合が
ございますのでご了承ください。

- A.昭和初年、大阪・福島に建設中の
田辺写真館
- B.高女時代、友人と編集した雑誌
『少女草』第1号～3号
- C.コレクションのひとつである「スヌーピー」
PEANUTS©United Feature Syndicate, Inc.